

総 評

国語を除いてどれも難しめの出題で、特に総合(適性)は、時間のかかる問いが多かったためか、平均点が伸びませんでした。

中学入試では、教科書の重要事項中心の学習だけでは高得点のはずめません。より深い知識や、学んだことを組み合わせて活用する力や、考えを表現する力が問われます。しかし、入試の目標は「満点をとる」ことではありません。自分の志望校のレベルにあわせて、「解けなくてはならない」問題を「確実に得点する」ことが大切です。今回のテストで明らかになった弱点を克服し、入試までの学習に役立てて下さい。中学入試は12月から1月に集中していますから、小6内容の学習はできるだけ早めに終わらせること。そして、志望校の出題傾向やレベルにあわせた問題集で対策をすることが大切です。

国 語

易しい出題でした。

㊦の小説は読みやすく、全体によくできています。問二(1)、問五は指定語句を使って書くことに注意しましょう。

㊧は、漢字の書きの「操縦」が難しかったようです。「操従」「操重」と書いたものや、「操」だけを書いた答案が散見されました。問二(1)「四方八方」はよくできていますが、(2)「一望千里」が難しかったようです。数字の入った四字熟語は他にもたくさんあります。意味とあわせて覚えておきましょう。

㊨は、全体に難しかったようです。問一では、①を試験の例で答えたもの(「落ちる」など)が散見されました。問四、問七、問八の記述問題は、設問文をよく読み、要件を過不足なくまとめましょう。

算 数

やや難しめの出題でした。

入試問題は、学校によって特ちょうがありますが、①と②は、どんな学校を受験する人にも重要な問題ばかりです。分数の計算や、図形の問題など、間違えた問題は必ず復習しましょう。③と④は図形中心の出題でした。直方体の容積や、円の面積の求め方など基本をしっかりと覚えましょう。⑤のような割合の問題は、近年出題する学校が増えています。考え方をしっかりと復習しましょう。⑥は文章をしっかりと読み、一つ一つ順を追って考えましょう。

入試問題の算数は一見難しそうですが、共通する「考え方のパターン」を身につけると、解ける問題の幅がぐんと広がります。これからでも十分に得点力アップがねえれますよ！

社 会

やや難しめの出題でした。

①(2)③は公害病について、名称と発生した河川の名が結びついていない人が多く、得点率が低くなりました。地理は、場所を覚えることが重要です。②(6)は、表を参考にして答える問題でしたが、聞かれたことに対する解答となっていないものが多く見られました。何を聞かれているのかを確認して解答を作成するように心がけましょう。③(11)は世界遺産に関する問題でした。世界遺産は時事問題としても出題されることがあるので、確認しておきましょう。④(2)は「化学」を選べなかった人が多かったようです。機械工業以外にどのような工業がさかんなのかを確認しておきましょう。⑤(3)は戦いの場所を選ぶ問題でした。戦いや事件については、名称とともに起こった場所も覚えておきましょう。

理 科

やや難しめの出題でした。

①(1)は、調べることだけを書き、結果が書かれていない答案が目立ちました。問題文をしっかりと読んで、何を書く必要があるかを確認しましょう。②はどれも基本的な内容でしたので、全体によくできていました。③は(3)と(4)が、実験の結果をもとにして考える必要があります。難しい問題でしたが、3分の1以上の人々が正解できていました。実験の内容と結果を正確に読み取れるかがポイントでした。④(2)はいつもと異なる形式であったためか、得点率が低くなりました。⑤(4)のような、話題になったことなどは入試で出題されることが多くあります。普段から科学ニュースにふれておくことで優位になります。⑥(4)をまちがえた人が多かったようです。血液の流れについて復習しておきましょう。

総合(適性)

前半の大問に時間がかかったためか、③と④の得点のびませんでした。最初に全体の分量を見きわめ、時間配分を考えながら取り組むようにしましょう。

①と③は、立体の見え方や計算など、算数を利用した出題でした。素材文や問題文に解答のヒントがありますので、見逃さないように読み取るのがポイントです。

②(2)は、札幌開成中でもよく出題される形式の文章記述問題です。指定されたすべての条件を満たし、だれにでも伝わるように表現する力を身につけましょう。

④は、資料やグラフの読み取りを中心とした出題でした。(1)では、複数のグラフを比較して、その特ちょうの違いに着目して説明することが必要でした。

文章記述問題では、文章を書いたあとに必ず読み直し、誤字や文法的な誤りがないかどうか点検しましょう。